

夢と未来を技術でひらく

**航空電子**

 日本航空電子工業株式会社

# 第75期事業報告書

平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで

## CONTENTS

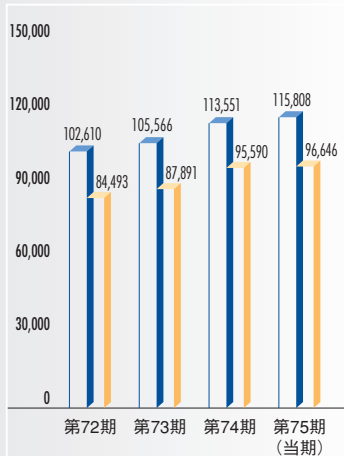
決算ハイライト  
株主の皆様へ  
製品別概況（連結）  
クローズアップ  
事業トピックス  
連結財務諸表  
単独財務諸表  
会社概要  
株式の状況  
ホームページのご紹介

# 決算ハイライト

■ 連結 ■ 単独 ● 連結 ● 単独

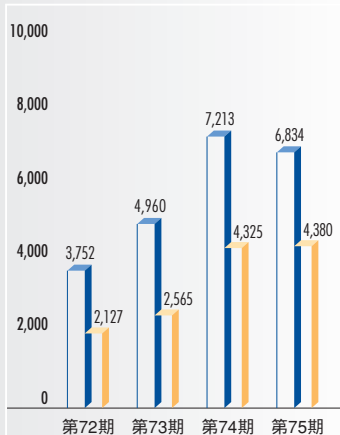
## 売上高

(単位: 百万円)



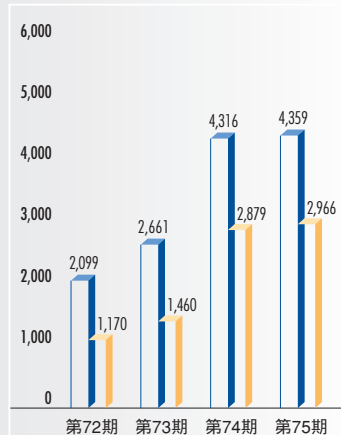
## 経常利益

(単位: 百万円)



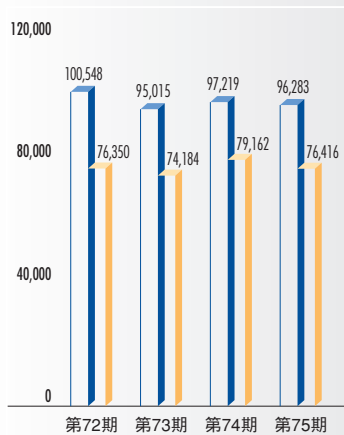
## 当期純利益

(単位: 百万円)



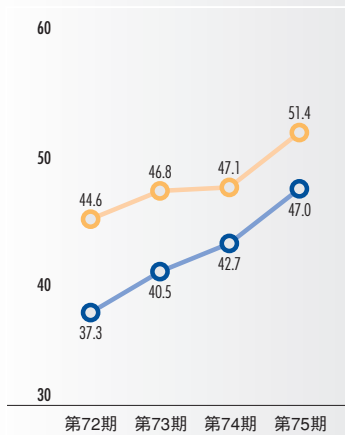
## 総資産

(単位: 百万円)



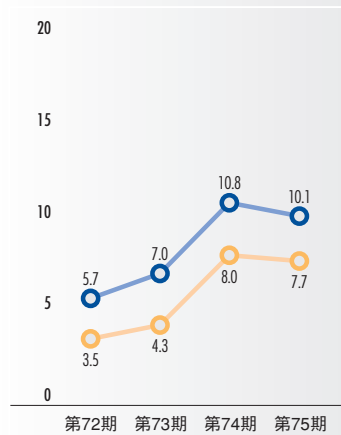
## 株主資本比率

(単位: %)



## 株主資本利益率 (ROE)

(単位: %)



株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は格別のご支援を賜わり厚く御礼申し上げます。ここに第75期（平成16年4月1日から平成17年3月31日まで）の営業の概況並びに決算の状況をご報告申し上げます。

当社の関連するエレクトロニクス業界の上期は、デジタル家電、携帯電話、パーソナルコンピュータ、カーエレクトロニクス等の各分野で活況を呈していたものの、下期に至り、市場競争の激化によるプライスダウン、供給過剰感からくる在庫調整等により、市況が悪化し、この影響を受け当社にとっても厳しい状況となりました。

こうした事業環境の下、当社は新製品開発のスピードアップ、グローバルマーケティングを積極的に推進した結果、連結業績につきましては受注高1,139億89百万円、売上高1,158億8百万円と、それぞれ前期比102%となりました。また、生産革新によるリ



取締役社長

藤崎雅美

ードタイムの短縮、コストダウン等の経営効率化を積極的に推進いたしました。経常利益は前期比95%の68億34百万円、当期純利益は前期比101%の43億59百万円となりました。

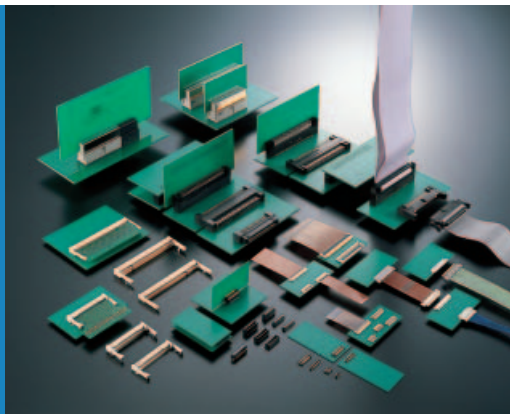
以上のような状況を勘案し、中長期的な観点から積極的に国内外に設備投資を行い、企業体質を強化・充実し経営基盤の強化と業績の向上に努めるとともに安定的な利益還元を継続するとの経営方針に基づき、当期の利益配当金については、1株につき4円（中間配当金を含めた当期の配当金は8円）とさせていただきますことといたしました。

なお、当期の事業トピックスとしては、革新的技術 f-CONNECT 応用製品の事業化開始、当社製品を搭載した H-II A ロケットの打ち上げ成功等、先進技術の成果をアピールすることができました。

今後も引き続きグローバルマーケティングの積極的な推進と当社の競争力の源泉である技術開発力の更なる強化、24時間操業可能体制の拡大、一貫生産体制の増強によるコストダウン、リードタイム短縮、品質向上によって顧客満足度の一層の向上を図るとともに、環境経営を推進し、航空電子グループの総力を結集し企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年6月



プリント基板用コネクタ

### コネクタ及び同関連製品

携帯電話・パーソナルコンピュータをはじめとする情報通信機器、カーエレクトロニクス及びデジタルテレビ・デジタルスチルカメラを中心とする民生機器等の幅広い分野で使用される当社売上の主力をなす製品です。

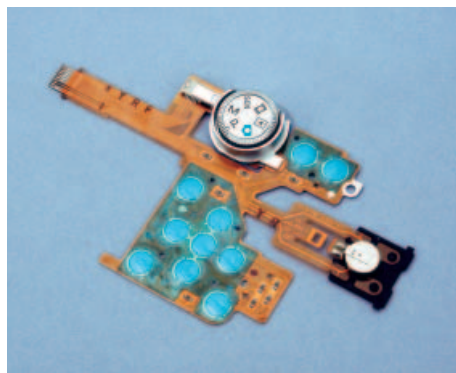
今期は、国内向け携帯電話用、パーソナルコンピュータ用製品が伸び悩んだものの、海外向け携帯電話用製品の売上が伸び、また、デジタル機器の普及、カーエレクトロニクス化の進展により国内外でのデジタル機器用、自動車用製品の売上が堅調に推移し、売上高は前期比103%の839億87百万円となりました。

売上高 **839**億 **87**百万円

### システム機器及び同関連製品

デジタルスチルカメラや携帯電話等の小型モバイル機器用の各種スイッチやスイッチモジュール等の入力デバイス、車載用・産業機械用・医療診断装置用のディスプレイ機器や操作パネル等のインターフェース機器並びに液晶基板等の高密度実装機器です。

今期は、デジタル機器の普及や好調な工作機械の需要を背景に、デジタルスチルカメラ用のスイッチモジュール等の入力デバイス、工作機械や自動車用パネルスイッチ等のインターフェース機器の売上が順調に伸びたものの、液晶基板組立は、主に国内及び台湾での販売が伸びず、売上は前期比100%の151億59百万円となりました。



デジタルスチルカメラ用操作スイッチモジュール

売上高 **151**億 **59**百万円

## 航空・宇宙用電子機器及び同応用製品

ジャイロ、加速度計のセンサやこれらを利用した慣性航法装置、慣性誘導装置、自動制御機器、電波高度計等の航空機搭載電子機器を主体とする官需市場向け製品並びに半導体及び液晶製造装置用制振／駆動用機器、油田掘削用センサ機器等の民需市場向け製品です。

今期は、産業機器分野での民需市場向け製品が順調に伸びたものの、官需市場向けの製品が伸び悩み、売上は前年同期比98%の147億90百万円となりました。



リングレーザジャイロ

売上高 **147** 億 **90** 百万円

## 光デバイス製品及びその他の製品

超精密成膜技術を用いた光フィルタ、ミラー、ARコート並びに光カプラ、光リンク・モジュール等の光エレクトロニクス関連製品を主体とする製品です。

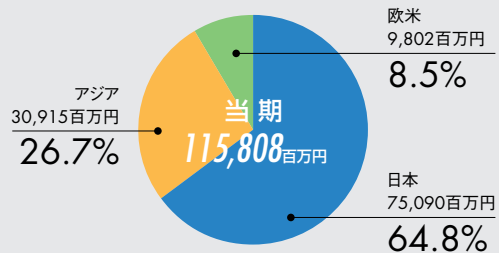
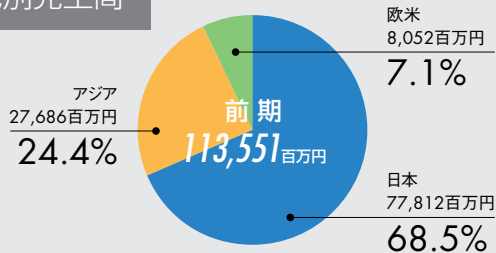
回復基調を見せ始めた国内外の光通信市場向けの光フィルタや光カプラ、また、半導体製造装置向け光モジュールが好調であったこと等により、売上は前期比110%の18億70百万円となりました。



光フィルタ

売上高 **18** 億 **70** 百万円

## 地域別売上高

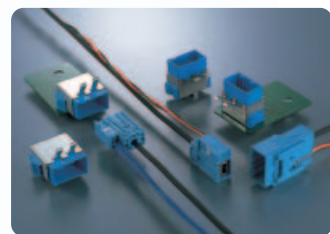


## カーエレクトロニクス

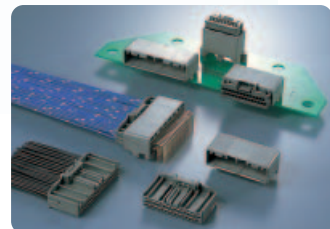
私達の生活に欠かすことができない自動車。  
自動車には様々な電子機器が使われています。

カーエレクトロニクスは大きく分けて  
カーナビ、ETC、車載情報ステーション、車内LAN等の情報通信系、  
エアバッグや衝突防止センサ等の安全制御系、  
エンジン制御装置等のパワートレイン系、  
ドアや電動シート等のボディ・インパネ系の4つの分野があります。

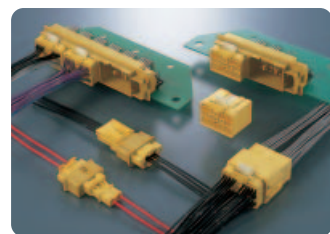
当社の製品は右のイラストにあるように、  
この各分野で電子機器同士または、機器内部の部品同士を接続し、  
電気信号や情報が確実、正確に伝達、  
表示されるために使われており、皆様から見えない、  
しかし、皆様の身近なところで自動車がより安全で、  
快適に走行するために欠かせない役割を果たしています。  
自動車に搭載される電子機器の数、種類が増大していることから、  
カーエレクトロニクス市場は自動車の  
生産台数の伸びを上回る成長が見込まれる  
当社にとって有望な市場の一つです。



●情報通信系 (情報通信用コネクタ)

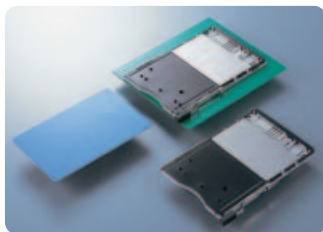


●ボディ・インパネ系 (インパネ用コネクタ)



●安全制御系 (エアバッグ用コネクタ)

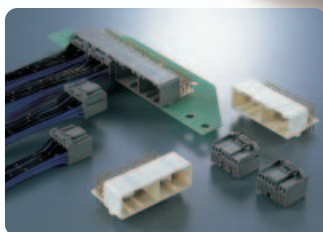
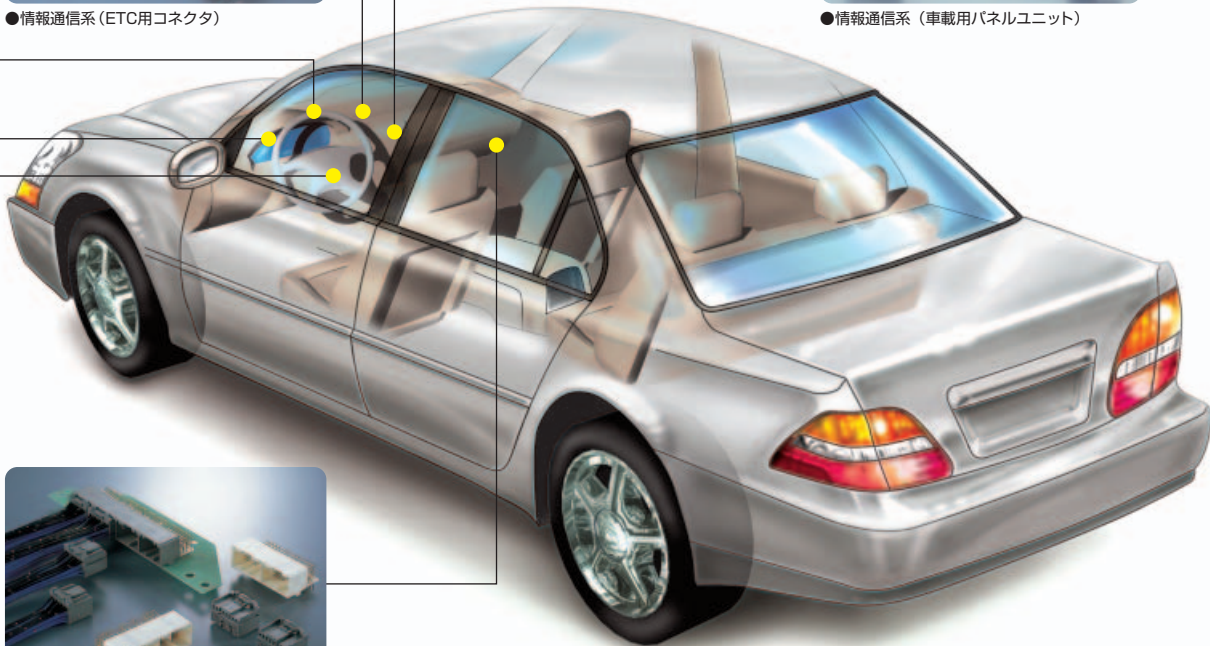
# 当社の製品はここ



●情報通信系 (ETC用コネクタ)



●情報通信系 (車載用パネルユニット)



●パワートレイン系 (ECU用コネクタ)

で **活躍** しています。

### 国内外で一貫生産体制を強化

自動車市場、デジタル家電市場向け製品の売上拡大が見込まれることから、コネクタ事業の一貫生産体制の強化によりコストダウン、リードタイムの短縮、品質の向上を図り、お客様のご要求により迅速かつ柔軟に対応できるグローバルな生産体制の拡充を図っています。海外では、中国の



●JAE Wuxi Co., Ltd. 新工場完成予想図

JAE Wuxi Co., Ltd.で昨年6月に第2工場を立ち上げるとともに、更なる事業拡大へ向け、来年4月操業をめざし、新工場建設に着手しました。国内では、グループ最大の生産子会社である弘前航空電子(株)において、プレス棟建設に取り掛かりました。



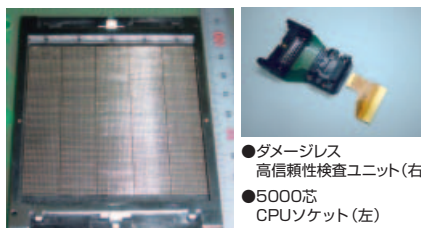
●弘前航空電子(株)プレス棟完成予想図

### “f-CONNECT”の応用で革新的ソリューションを提案

当社は、画期的な技術であり、軽く触れるだけで接続できるという“f-CONNECT”の基本技術を確認し、この技術を応用した2種類の製品の事業化を開始いたしました。

一つは、5000芯CPUソケットです。この製品はスーパーコンピュータの頭脳にあたるCPUを低コストかつ確実にスーパーコンピュータに実装することを実現した製品です。

もう一つは、ダメージレス高信頼性検査ユニットです。この製品は、f-CONNECTの低接触圧のメリ



- ダメージレス高信頼性検査ユニット(右)
- 5000芯CPUソケット(左)

ットを生かし、液晶モジュールの基板実装用フレキシブルプリント基板（FPC）の導通チェックをFPCに傷をつけることなく行うことを可能とするものです。

## H-IIAロケット打上げ、深海巡航探査機「うらしま」に貢献

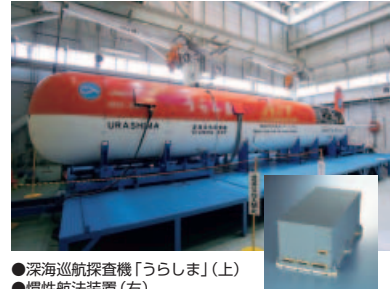
©RSC



● H-IIA7号機の打上げ (上)  
● 慣性センサユニット (右)

純国産ロケットH-IIA7号機に搭載された当社の慣性センサユニットのロケット打ち上げ成功への貢献が評価され、(株)ロケットシステム殿より感謝状を授与されました。また、当社の世界最高水準の精度を持つ慣性航法装置を搭載した無人自走式深海探査機「うらしま」が日刊工業新聞・日本産業技術大賞の審査委員会特別賞を受賞しました。

写真提供：JAMSTEC



● 深海巡航探査機「うらしま」(上)  
● 慣性航法装置 (右)

## 東京・奥多摩の「航空電子グループの森」植樹を継続

環境経営のシンボルとして、昨年6月に東京・奥多摩に「航空電子グループの森」を開設しました。航空電子グループとして環境に有害なものを使用しない、汚染するものは出さない等の方針に基づき、地球温暖化の原因となるCO<sub>2</sub>の削減、生活水を清く保っていくこと等に会社として積極的に協力していこうとするものです。

この「航空電子グループの森」において、昨年11月に環境管理活動に携わっている社員による植樹が行われ、今年4月には環境教育の一環として

新入社員による植樹も行い、社員の環境意識の向上を図っています。



●今年4月に行われた植樹

## 連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

	当期 平成17年3月31日現在	前期 平成16年3月31日現在		当期 平成17年3月31日現在	前期 平成16年3月31日現在
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
流動資産	<b>56,620</b>	60,091	流動負債	<b>34,423</b>	35,949
現金及び預金	<b>18,311</b>	20,260	支払手形及び買掛金	<b>23,591</b>	23,145
受取手形及び売掛金	<b>20,188</b>	21,053	POINT.1 短期借入金	<b>3,878</b>	4,141
棚卸資産	<b>11,724</b>	12,528	未払法人税等	<b>918</b>	2,316
繰延税金資産	<b>1,585</b>	1,668	繰延税金負債	<b>19</b>	—
その他流動資産	<b>4,877</b>	4,635	その他流動負債	<b>6,015</b>	6,344
貸倒引当金	△ <b>67</b>	△ 53	固定負債	<b>16,642</b>	19,792
固定資産	<b>39,662</b>	37,127	POINT.1 長期借入金	<b>5,786</b>	8,790
有形固定資産	<b>30,484</b>	29,510	退職給付引当金	<b>10,280</b>	10,230
無形固定資産	<b>1,865</b>	1,283	繰延税金負債	<b>193</b>	185
繰延税金資産	<b>3,276</b>	3,160	その他固定負債	<b>382</b>	585
その他固定資産	<b>4,209</b>	3,312	負債合計	<b>51,066</b>	55,741
貸倒引当金	△ <b>173</b>	△ 139	<b>資本の部</b>		
資産合計	<b>96,283</b>	97,219	資本金	<b>10,690</b>	10,690
			資本剰余金	<b>14,435</b>	14,431
			利益剰余金	<b>22,134</b>	18,575
			その他有価証券		
			評価差額金	<b>297</b>	234
			為替換算調整勘定	△ <b>1,824</b>	△ 2,153
			自己株式	△ <b>517</b>	△ 300
			POINT.2 資本合計	<b>45,216</b>	41,477
			負債及び資本合計	<b>96,283</b>	97,219

### 短期借入金、長期借入金

POINT. 1

グループ資金の一括管理による資金の効率化を図った結果、長  
短借入金残高は、100億円を切る96億64百万円とすることが出  
来ました。

### 資本合計

POINT. 2

利益の創出による株主資本の増強並びに資産の圧縮を図った結  
果、財務的安全性を示す株主資本比率は47.0%と前期比4.3%改  
善することが出来ました。

連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

	当 期 平成16年4月 1日から 平成17年3月31日まで	前 期 平成15年4月 1日から 平成16年3月31日まで
<b>経常損益の部</b>		
<b>営業損益の部</b>		
営業収益	115,808	113,551
売上高	115,808	113,551
営業費用	107,940	103,475
売上原価	87,694	83,663
販売費及び一般管理費	20,245	19,812
<b>POINT 3</b> 営業利益	<b>7,867</b>	10,076
<b>営業外損益の部</b>		
営業外収益	458	263
受取利息及び配当金	90	74
その他営業外収益	367	188
営業外費用	1,491	3,126
支払利息	181	260
その他営業外費用	1,309	2,865
<b>POINT 3</b> 経常利益	<b>6,834</b>	7,213
税金等調整前当期純利益	6,834	7,213
法人税、住民税及び事業税	2,522	3,722
法人税等調整額	△ 47	△ 907
少数株主利益	—	81
<b>POINT 3</b> 当期純利益	<b>4,359</b>	4,316

営業利益、経常利益、当期純利益

POINT 3

営業利益は、プライスダウンの影響や次年度以降の新製品開発費の増加による原価率の上昇（前年比2.0%）の結果、78億67百万円と前期比22%の減益となり、経常利益は、前期比5%の減益となりましたが、当期純利益は、資金の有効活用による節税効果により43億59百万円と前期比1%の増益とすることが出来ました。

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨) (単位：百万円)

	当 期 平成16年4月 1日から 平成17年3月31日まで	前 期 平成15年4月 1日から 平成16年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,532	14,157
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,397	△ 6,437
<b>POINT 4</b> フリー・キャッシュ・フロー	<b>2,135</b>	7,720
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,217	△ 4,445
現金及び現金同等物に 係る換算差額	133	△ 287
現金及び 現金同等物の増加額	△ 1,948	2,987
現金及び 現金同等物の期首残高	20,260	17,068
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	—	204
現金及び 現金同等物の期末残高	18,311	20,260

フリー・キャッシュ・フロー

POINT 4

厳しい事業環境下でありましたが次年度以降の業績に直結する競争力・技術開発力強化のための設備投資114億89百万円（前年比26%増）を実施した中でフリー・キャッシュ・フローは、21億35百万円のプラスとすることが出来ました。

# 単独財務諸表

## 貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

	当期	前期
	平成17年3月31日現在	平成16年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	<b>43,632</b>	48,360
現金及び預金	<b>13,599</b>	16,503
受取手形及び売掛金	<b>17,749</b>	18,808
棚卸資産	<b>7,018</b>	8,337
未収入金	<b>2,634</b>	2,664
繰延税金資産	<b>1,038</b>	1,132
その他流動資産	<b>1,596</b>	925
貸倒引当金	△ <b>4</b>	△ 13
固定資産	<b>32,783</b>	30,802
有形固定資産	<b>14,419</b>	14,229
無形固定資産	<b>1,516</b>	1,004
繰延税金資産	<b>2,402</b>	2,425
その他固定資産	<b>14,565</b>	13,230
貸倒引当金	△ <b>121</b>	△ 88
資産合計	<b>76,416</b>	79,162

	当期	前期
	平成17年3月31日現在	平成16年3月31日現在
<b>負債の部</b>		
流動負債	<b>23,527</b>	25,213
固定負債	<b>13,572</b>	16,658
負債合計	<b>37,100</b>	41,871
<b>資本の部</b>		
資本金	<b>10,690</b>	10,690
資本剰余金	<b>14,435</b>	14,431
利益剰余金	<b>14,425</b>	12,259
<small>その他有価証券評価差額金</small>	<b>281</b>	210
自己株式	△ <b>517</b>	△ 300
資本合計	<b>39,315</b>	37,291
負債・資本合計	<b>76,416</b>	79,162

## 損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

	当期	前期
	平成16年4月1日から平成17年3月31日まで	平成15年4月1日から平成16年3月31日まで
<b>経常損益の部</b>		
<b>営業損益の部</b>		
営業収益	<b>96,646</b>	95,590
営業費用	<b>92,329</b>	89,991
営業利益	<b>4,316</b>	5,599
<b>営業外損益の部</b>		
営業外収益	<b>1,099</b>	1,109
営業外費用	<b>1,035</b>	2,383
経常利益	<b>4,380</b>	4,325
税引前当期純利益	<b>4,380</b>	4,325
当期純利益	<b>2,966</b>	2,879
当期末処分利益	<b>6,770</b>	4,603

## 利益処分

(単位：百万円)

	当期	前期
	株主総会決議 平成17年6月24日	株主総会決議 平成16年6月25日
当期末処分利益	<b>6,770</b>	4,603
これを次の通り処分します。		
配当金	<b>366</b>	367
(1株につき)	<b>(4.0円)</b>	(4.0円)
取締役賞与金	<b>53</b>	65
次期繰越利益	<b>6,350</b>	4,171

(注) 平成16年12月2日に367,603,980円(1株につき4円)の中間配当を実施いたしました。



# 株式の状況

## 株式情報

(平成17年3月31日現在)

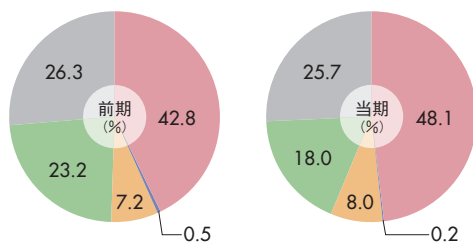
- 発行済株式の総数 92,302,608株
- 株主数 9,038名
- 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)
日本電気株式会社	22,491,671	39.98
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (住友信託銀行再信託分日本電気株式会社退職給付信託口)	13,800,000	—
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	11,909,000	13.12
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,708,000	9.59
バンクオブ ニューヨーク ヤロップ リミテド ルクセンブルグ 131800	3,189,000	3.51
UFJ信託銀行株式会社(信託勘定A口)	1,309,000	1.44
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託B口)	1,266,000	1.39
資産管理サービス信託銀行株式会社(年金信託口)	677,000	0.75
日本航空電子工業従業員持株会	602,070	0.66
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	550,000	0.61

(注) 1. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(住友信託銀行再信託分・日本電気株式会社退職給付信託口)の持株数13,800,000株の議決権は、信託約款上、日本電気株式会社が留保しています。  
2. 当社は、自己株式633,311株を保有していますが、上記大株主からは除外しています。なお、当該自己株式数は株主名簿記載上の株式数であり、実質保有株式数は632,311株です。

## ●所有者別株式分布の状況

	株主数(名)	持株数(株)	持株数比率(%)
金融機関	60	44,351,034	48.1
証券会社	28	226,669	0.2
外国法人等	67	7,385,225	8.0
個人その他	8,758	16,584,819	18.0
その他の法人	125	23,754,861	25.7
合計	9,038	92,302,608	100.0



## 株主メモ

- 決算期 3月31日
- 定時株主総会 6月
- 基準日 3月31日(中間配当基準日 9月30日)
- 株式事務取扱場所  
名義書換代理人  
大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
住友信託銀行株式会社  
同事務取扱場所  
東京都千代田区丸の内一丁目4番4号  
住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(各種照会先)  
住所変更等用紙のご請求 ☎0120-175-417  
その他のご照会 ☎0120-176-417  
<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>
- 同取次所  
住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
- 公告掲載新聞  
日本経済新聞に掲載します。但し、貸借対照表及び損益計算書に係る情報は、当社ホームページにおいて掲示しております。
- 上場証券取引所  
東京証券取引所

## 単元未満株式を保有されている皆様へ

当社では、単元未満株式の買増制度を導入しておりますので、ご所有の単元未満株式を1単元(1,000株)とするため、必要な数の株式の買増しを当社に請求することができます。

また、単元未満株式の買取り制度を利用することもできます。詳細は、名義書換代理人(☎0120-176-417)にて照会下さい。

ホームページのご紹介

トップページ



<http://www.jae.co.jp>

株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、積極的な情報開示を行っています。

投資家の皆様へ



<http://www.jae.co.jp/ir/index.html>

プレスリリース、決算短信、事業報告書、アニュアルレポート等を掲載しています。

JAE Connector Search



<http://www.jae-connector.com>

当社コネクタ製品のタイプ別、用途別等の様々な検索ができます。



 **日本航空電子工業株式会社**

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-21-2 TEL.03-3780-2711  
ホームページ(トップページ) <http://www.jae.co.jp>  
(JAE Connector Search) <http://www.jae-connector.com>

